「選ばれる森林土木」に向けて
～【令和６年度】森林土木工事の積算等の改善～

令和６年４月
【林野庁】

【令和６年度から実施する主な取組】

- 林道工事の盛土工について、適用機種を「ブルドーザ等」から「バックホウ＋振動ローラ」に変更し施工実態に応じた歩掛を追加（参考１）
- 治山ダムエのｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車打設で、打設回数に応じた基本料金の積算方法を追加（参考１）
- 森林土木工事（治山・林道）の共通仮設費率に独自の補正を追加（参考２）
- 森林土木工事で施工性の高い工種・工法の適用促進（参考２）
- 山間奥地で通信環境を整える場合の積算方法を追加（参考２）
- 緑の守り手認定事業者制度の創設
  ～森林土木工事での貢献を顕彰～（参考３）

【令和５年度までの主な取組】
- 林道工事の掘削工について、施工実態にあった施工土量が小さい歩掛を設定
- 治山工事の掘削工について、施工の難易度に応じた歩掛を設定
- 工事提出書類の各種様式の簡素化
- 奥地の工事現場へのアクセスで作業時間が短くなる場合に労務費を補正
- 現場実態に合うよう「見積り」の活用を促進

【継続する取組】
- 各種会議等で改善事項の普及啓発を徹底（「選ばれる森林土木」キャラバン）
- 森林土木分野「i-Construction」の推進（各地の優良事例の把握・発信等）
- 現場条件を適切に反映するため設計・積算手引書を作成

現場実態にあった歩掛を設定

（参考１）

林道工事の盛土工について、適用機種を「ブルドーザ等」から「バックホウ＋振動ローラ」に変更し施工実態に応じた歩掛を追加

【林道開設延長1,000m、盛土工2,750㎥及び仮設工等を含む】

	直接工事費	間接工事費等	本工事費（税込）	－
令和５年度	1,162 万円	1,131 万円	2,293 万円	－
令和６年度	**直接工事費**	**間接工事費等**	**本工事費（税込）**	**アップ額**
	1,592 万円	1,507 万円	3,099 万円	**806万円**（34.7%増）

工種	施工土量	機種	規格
路体築堤	10,000㎥未満	ブルドーザ	15t級又は11t級
	10,000㎥以上		21t級
路床	10,000㎥未満	ブルドーザ	15t級又は11t級
		タイヤローラ	8～20t級

工種	施工土量		機種	規格
路体築堤路床	5,000㎥未満		バックホウ	山積0.45㎥
			振動ローラ	搭乗式コンバインド3～4ｔ
		幅員2.5m以上4.0m未満	バックホウ	山積0.45㎥
			振動ローラ	ハンドガイド式0.5～0.6

現場実態にあった歩掛を設定

治山ダム工のｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車打設で、打設回数に応じた基本料金の積算方法を追加

【治山ダム堤高6m、堤長30m、ｺﾝｸﾘｰﾄ体積400㎥、打設回数5回、圧送距離100m、仮設工等を含む】

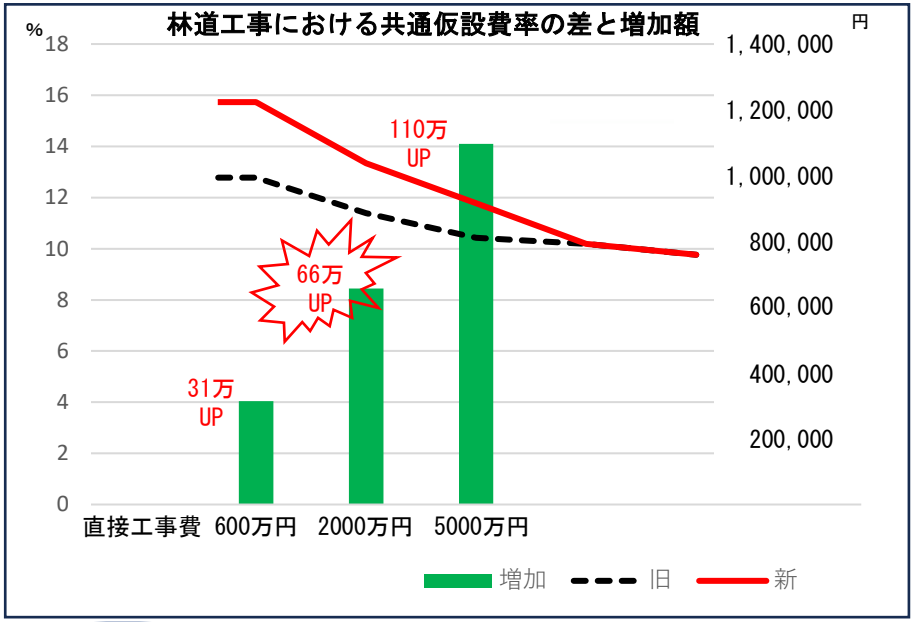
	直接工事費	間接工事費等	本工事費（税込）	－
令和５年度	1,628 万円	1,677 万円	3,305 万円	－
令和６年度	**直接工事費**	**間接工事費等**	**本工事費（税込）**	**アップ額**
	1,666 万円	1,707 万円	3,373 万円	**68万円**（2.1%増）

山間奥地の実態を反映した間接費

森林土木工事（治山・林道）の 共通仮設費率に独自の補正を追加

（参考２）

【直接工事費が2,000万円の林道工事の場合、共通仮設費を1.96%独自に上乗せ】



事業別	年度	直接工事費	共通仮設費	現場一般管理費等	本工事費（税込）	ＵＰ額	共通仮設費率（%）
治山工事	R５	2000万円	228万円	1751万円	3979万円	29万円（0.7%増）	11.41
治山工事	R６	2000万円	246万円	1762万円	4008万円	29万円（0.7%増）	12.29（0.88UP）
林道工事	R５	2000万円	228万円	1628万円	3856万円	66万円（1.7%増）	11.39
林道工事	R６	2000万円	267万円	1655万円	3922万円	66万円（1.7%増）	13.35（1.96UP）

森林土木分野での働き方改革

森林土木工事で 施工性の高い工種･工法の適用促進

森林土木工事は現場条件が厳しいため、設計から施工段階において、生産性の向上や工期短縮等に資する施工性の高い工種・工法の適用を促進。

森林土木分野でＩＣＴ活用の推進

山間奥地で通信環境を整える場合の積算方法を追加

山間奥地でも使用可能な通信機器を活用し、緊急連絡体制の確保や遠隔臨場･ICT活用工事を実施するため、通信手段の経費を計上。